

ウィズセンター情報誌

2019

vol.74

# With

特集

**男女共同参画推進月間2018**

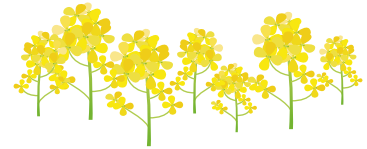
～みんなイキイキ 男女がともに輝く“おかやま”～

女子  
特集

**女性に対する暴力をなくすために**

## 登録団体パネル展示

パネル展示では、6つの団体が、写真やイラストを添えて活動の様子をわかりやすく伝えました。また、24の団体からは、活動内容の紹介や皆さんに向けたメッセージをいただき、会場を華やかにいどりました。



世界女性会議  
岡山連絡会

おかやま女性  
国際交流会

岡山県退職女性  
教職員の会

西大寺子ども  
ライブラリークラブ

おはなしのWA♪

ママの働き方応援隊岡山校

## ときめきカフェ&おしゃれなバザー

交流サロンでは、今年もにぎやかにカフェとバザーが開かれました。バザーでは、生活用品や雑貨、手作りの小物などをDV被害者と支援者が一緒になって、おしゃれにラッピングして販売しました。

カフェではお茶菓子とコーヒー・紅茶をご用意し、多くのお客様に楽しいひとときをすごしていただきました。

バザーの品物を提供いただいた方、ご来場くださった皆様、ありがとうございました。

主催：(NPO)さんかくナビ  
共催：あいネット倉敷



## 登録団体交流会を開催しました



今年は11団体が参加し、楽しく和やかな交流会となりました。

今回は、「あなたも民話の語り部に！」と題し、「せとうち語りの会うぐいす」の皆さんをお招きし、岡山県に伝わる民話や昔話の語りをお聞きしました。

“むかしこっぴり”で結ばれる語りは、やわらかい岡山弁と心地よいリズムに乗って、会場をやさしい笑顔で包み込みました。

後半は、参加者の方も「ねずみの商売」など岡山のお話の語りに挑戦し、自分らしく語ることを楽しんでおられました。

お昼からは、各登録団体の日頃の活動の報告や今後の催しの告知など、にぎやかに歓談し、最後に、恒例の「あなたとわたしのウィズソング」を歌って拍手で閉会となりました。



### 参加団体

- ・ イースト岡山女性ネットワーク
- ・ おかやま女性会議
- ・ おかやま女性国際交流会
- ・ 岡山地域ピーチの会
- ・ 邑久ライフフォーラム
- ・ 笠岡市男女共同参画推進自主団体「きらら」
- ・ 笠岡女性セミナー
- ・ さんかくナビ
- ・ 14期岡山県女性のバス
- ・ 手づくりミュージカル「ドラネコ座」
- ・ ママの働き方応援隊岡山校  
(五十音順)

## 男女共同参画推進月間2018 登録団体主催事業報告

講演会 ◆ 主催：イースト岡山女性ネットワーク

10月20日（土）

### 演題 「人生100年を生きる女性の健康」

講師 金重 恵美子さん（岡山中央病院副院長）

産婦人科医師として女性の健康支援に尽力されている金重さん。人生100年を生き生きと過ごすための大切なポイントをライフステージに合わせてお話しいただきました。

若年女性に伝えたいのは、女性ホルモンや骨量がピークになる思春期に体を作ることがいかに大切か、ということだそう。これができていないと、女性ホルモンがガクンと減る更年期に、ホットフラッシュやめまいなどの症状が現れやすいそうです。

また、楽に過ごす方法として、ホルモン療法など医学的なお話とともに、花を見て「きれいだな」と感じることで心を潤すこと、食生活に豆類を取り入れたり、軽い運動をする習慣をつけるなどのアドバイスをいただきました。

最後は質問や感想の活発なやりとりもあり、実りある時間となりました。



講演会 ◆ 主催：CAPおかやま

10月14日（日）

### 演題 「性の加害と被害～その予防のためにできること～」

講師 藤岡 淳子さん（大阪大学教授）  
野坂 祐子さん（大阪大学准教授）

性の加害・被害の予防のためには4つの壁を高くしておくことです。

つまり、①外的バリア(再犯の機会を作らない。保護者が子どもの行動や言動に関心を向け、親子のコミュニケーションの質を向上させる)・②内的バリア(思考の誤りを認識し行動変容をしていく)・③被害者の壁(被害体験による認知の変化を見直す)・④動機のバリア(そもそも子どもが安心・安全に暮らす環境を整える)の4つの壁を強化することが、未然防止・発生防止・悪化防止・再発防止につながるのだそうです。

事例と共に語られた話は、参加者の心をつかみ、我が子や目の前にいる子どもたちとの関わりを振り返らせました。子どもたちが性の暴力に関わらない道は、私たちおとなの姿勢に掛かっています。そのことを肝に銘じる時間となりました。



講演会 ◆ 主催：おかやま女性国際交流会

11月30日（金）

### テーマ 「私を生きる」

講師 田淵 泰子さん（フリーアナウンサー・精神保健福祉士）

フリーアナウンサーで精神保健福祉士の田淵泰子さん。アナウンサーを生涯の仕事としながら、福祉の世界へ飛び込こんだきっかけや、現在取り組んでいるメンタルヘルス教育の普及啓発について伺いました。

福祉の仕事をしたと考えはじめたのは、学生時代に自閉症の子どもたちと一緒に大山登山を経験してからとのこと。さらに、大ファンだったボーカリストが、うつ病で自死してしまったことが、メンタルヘルスに取り組むきっかけとなったそうです。

以来、田淵さんは、心の病がある人たちと地域との交流の場として「ひまわりサロン」を開設したり、中学生に向けて「心の病気を学ぶ授業」を実施するなど、人と人がつながりあい、子どもたちが生きる力を育むためのアプローチが続けられています。

講演終了後は、質問や感想が飛び交い、参加者の関心の深さがうかがえました。



題名 「Given ギブン ～いま、ここ、にある しあわせ～」

「新老人の会」創設者の日野原重明先生が最高顧問として製作された作品を、今回岡山支部で上映会を開催する運びになりました。

難病の子どもたちとともに、いのちと向き合い前向きに生きる家族の姿に圧倒され、会員一同、おおきな感動に胸がいっぱいになりました。

家族のあるがままの姿、兄弟の明るさと、家族を支える愛の大きさに心打たれた2時間でした。



## 平成30年度 岡山県男女共同参画社会づくり表彰

平成30年11月20日(火)に、平成30年度岡山県男女共同参画社会づくり表彰式が県庁で行われました。

この表彰は、県内各地域において、男女共同参画社会づくりに積極的に取り組み、その功績が顕著であると認められ、今後もその活躍が期待される方々を表彰するもので、伊原木知事から個人4名と事業者3団体に、小林県民生活部長から個人10名に、表彰状と記念品が授与されました。

### ■ 知事表彰

個人の部	<b>東 隆司(倉敷市) 宙の会事務局長</b>
	倉敷市において、同会ほか複数の男女共同参画団体の運営を補佐し、男女共同参画社会の実現に努力している。 また、平成29年度にはくらしき男女共同参画フォーラム実行委員長として、「防災と男女共同参画」をテーマに啓発活動を主導した。
	<b>栗田 淑子(備前市) ボランティアグループふれあい会長</b>
	数少ない女性公民館長として自治公民館長を務めるほか、同会において、早くから女性の視点を備えた活動を行い、男女共同参画まちづくりに向けた機運の醸成に貢献している。
<b>中島 久美子(総社市) 総社市ネットワーク“波”役員</b>	
同団体の役員として中心的な役割を担い、総社市の男女共同参画社会づくりに貢献している。また、子育て、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた先進的な取組を行うほか、広く家庭問題等の相談役として活躍している。	
<b>松井 圭三(岡山市) 岡山市男女共同参画専門委員会委員</b>	
岡山県及び岡山市の男女共同参画に関する委員を務めるほか、「さんかくウィーク」において事業の企画・運営・実施の中核を担い、事業の成功に大きく貢献するなど、岡山市の男女共同参画推進に大きな役割を果たしている。	

### 津山信用金庫

総合職転換や、契約職員の正社員登用の促進等により、女性職員の職域拡大を図るとともに、視察や研修の機会を増やすなど、女性の能力向上に務めている。また、安心して出産できる職場づくりを進めるほか、育児中の短時間勤務制度やノー残業デー等の定着により、男女ともに働きやすい環境づくりを行っている。

### 株式会社ドゥ・ワン・ソーイング 岡山工場

女性を管理職へ積極的に登用するほか、昇格基準を明確にし、キャリア形成のロールモデルの育成に努めている。また、プレミアムエブリデー制度(業務が終了すれば帰宅可)や保育料の補填制度等の導入に加え、育児休業を男女双方に義務化し、3年連続で男女とも取得率100%となるなどの成果を上げている。

### ペガサスキャンドル株式会社

経営方針に女性や若手の活用を掲げ、プロジェクトリーダーや研究職へ女性の登用を進めており、現在、課長職の半数は女性である。  
また、ノー残業デーや有給休暇取得奨励日の設定、学校行事参加のための遅刻・早退の許可など、家庭と仕事を両立できる環境づくりを進めている。

(50音順)

### ■ 県民生活部長表彰

氏名	住所地	功労者としての役職
青木 耕治	里庄町	里庄町男女共同参画審議会会長
安達 励人	倉敷市	倉敷市男女共同参画審議会会長
岡本 緑	矢掛町	やかげ女性連絡協議会運営委員長
片岡 仁美	岡山市	岡山大学医療人キャリアセンターMUSCATセンター長
多田 憲一郎	岡山市	岡山県男女共同参画審議会会長
土屋 紀子	倉敷市	岡山県婦人協議会前会長
中本 秀子	岡山市	宮浦婦人防火クラブ会長
百本 恵子	倉敷市	あいネット倉敷代表
藤岡 亀子	倉敷市	「宙の会」広報部長
山下 美紀	岡山市	岡山市男女共同参画社会推進センター運営委員会委員長

(50音順)



【後列左より】小見山 晃(生涯学習課長)、小林 章人(県民生活部長)、青木 耕治、安達 励人、岡本 緑、片岡 仁美、多田 憲一郎、中本 秀子、百本 恵子、山下 美紀、島村 裕史(少年課長)、中山 均(男女共同参画青少年課長)

【前列左より】土屋 紀子、東 隆司、中島 久美子、松井 圭三、波多 洋治(県議会副議長)、伊原木 隆太(知事)、松岡 裕司(津山信用金庫)、土井 順治(株式会社ドゥ・ワン・ソーイング 岡山工場)、藤井 和代(ペガサスキャンドル株式会社) ※代理出席 藤岡 亀子



# ウィズカレッジ企画講座

2019年1月27日(日)



「女性」であることへの違和感を抱え、性別ってなんだろうと悩み続けてきた杉山さん。高校時代のカミングアウトや、当事者間のつながりで感じたことなど、ご自身の体験を交えながら、わたしたちが今、LGBTについて知っておきたいこととお聞きしました。

**演題** 『はじめてのLGBT ～性の多様性について～』

**講師** すぎやま ふみの **杉山 文野**さん(トランスジェンダー活動家 株式会社ニューキャンパス代表取締役)

## 「性ってなんだろう」

杉山家の次女として生まれ、小中高は女子校、フェンシング女子日本代表にもなりましたが、物心ついて以来、ずっと「女性であること」に違和感がありました。性別違和と呼ぶものです。

さまざまなスポーツの中からフェンシングを選んだのはユニフォームに男女差がなかったからです。子ども心に何となく口にはしていけないことだと感じていたその気持ちは、次第に「性ってなんだろう」という考えにつながっていきました。

一般的に、人は生まれた時の性器の状態で性別が判定されますが、性はそんなに単純ではありません。私は、性に関わる大きな要素として①体の性②心の性③性的指向の3つがあると考えています。組み合わせると27通り。もちろん、もっと細かく分けることもできます。

LGBTは1980年代後半から欧米で使われ始めた、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取った性的マイノリティを表す言葉です。しかし、相手との関係性を示すLGBと、対自分の問題であるTが混在するため、最近では、SOGI\*という言葉が使われるようになってきています。

なお、性同一性障害は、トランスジェンダーの中で特に性別違和が強いものを指す医学的な呼び名です。

## 今いる所を居心地の良い場所に

息苦しさから海外に逃げ、50数カ国を回りました。最後には南極船にまで乗りましたが、he か she か問われ続けました。どこまで行ってもこの問題から逃げられないと気づき、それなら今いる場所を生きやすくしようと決心しました。

今は、当事者の子どもたちに配慮するよう学校に連絡ができていますし、当事者が働きやすい職場づくりや、LGBTに向けた商品開発も始まっています。しかしトランスジェンダーには日常のトイレも難題ですし、

プールや修学旅行に参加できなくて不登校になる子どもいます。同性婚の課題もあります。婚姻届を出した時の幸福感を共有できるような社会は、誰にとってもいい社会になるのではないかと思います。

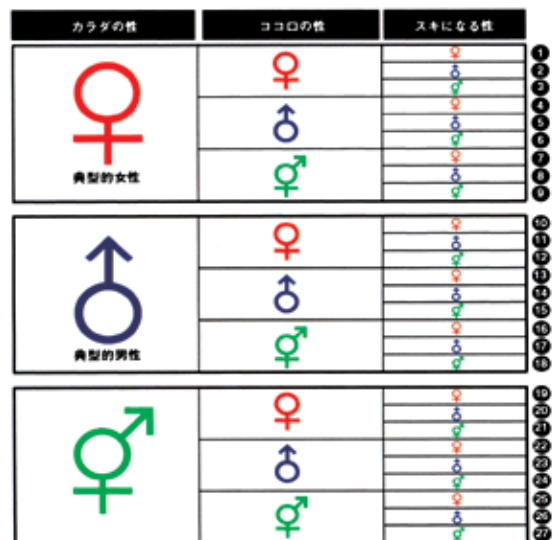
## みんなで支援「ウェルカミングアウト!」

日本におけるLGBTの割合は5～8%、左利きの人やA B型の人と同程度だと言われています。私がカミングアウト本を出版したのは、LGBTの人は口に出せないだけで、身近にいるのだと伝えたかったからです。

皆さんには、今日の話誰かに伝える、レインボーシールを貼るなどの行動で、当事者が相談しやすい環境を作ってほしいと思っています。カミングアウトは「あなたを信頼していますよ」という証です。まずは、しっかり話を聞いてもらえると嬉しいです。

私自身、初めてカミングアウトしたとき「話してくれてありがとね。性別がどうであれ、文野は文野で変わらないよ」と友達が言ってくれた言葉が転機になり、少しずつ自己肯定感を取り戻すことができました。

ハードよりハートです。マイノリティに優しい社会はみんなに優しい社会です。



フミノ式性別理論

\* SOGI(ソジ)=Sexual Orientation and Gender Identity (性的指向/性自認)



## 男女共同参画ゼミナール公開講座 2018年9月13日(木)

**演題** 「避難生活で命と健康を守るために」  
～女性・子ども・高齢者などの視点から～

**講師** あさの さちこ 浅野 幸子さん (減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)

浅草に生まれ、関東大震災の資料を身近に見て育った浅野さん。学生時代の登山体験や阪神淡路大震災のボランティア経験から見てきた、災害時の要配慮者への支援について伺いました。

◆想像してみましょう。今、家族の団らん中に震度6の地震がおきたとしたら。家具は倒れ、窓ガラスや鏡は割れました。さて、あなたと家族はどうなりましたか？家具の転倒防止や飛散防止フィルムを貼っていたらケガも少ないですね。ではハザードマップは見ていますか？災害によって逃げるところは変わります。そして最低3日分の水・食料の備蓄はしていますか？道路が通れなかったら消防車も来られません。公助が一番最後にやって来ます。自分の身を守れば人を助けることもできます。自助と共助は表裏一体なのです。

◆要介護の高齢者、障害のある方、赤ちゃん連れの家族など、避難所の集団生活が厳しい人たちは、車中泊や自宅避難をするケースも多いです。熊本地震では200人以上の方が避難生活期に災害関連死として犠牲になっています。高齢者や乳幼児などの要支援者のケアをしている人は圧倒的に女性が多いです。健康被害をふせぎ、関連死を出さないために、女性たちの要望を積極的に聞きましょう。そのためにも、地域防災組

織や避難所に女性のリーダーがいることが不可欠です。また災害後は性暴力などのリスクも高まりますので、防犯対策をしっかりとりましょう。男性リーダーに毅然とした態度で防犯に取り組んでもらうと同時に、女性も女性や子どもの視点で一緒に対策に取り組みしましょう。

◆大災害時には自助・共助にも限界があります。周囲からの支援を受け入れる受援力をアップすることが大切です。くらし目線をもった女性たちの声が活動に反映されるように、平時から防災組織には女性リーダーが少なくとも3割程度活動している状況を作りましょう。ほかにも障害者ケアのノウハウを持つのも障害者ですし、赤ちゃんのことは若いパパやママがよく知っています。避難所運営や復興協議はユニバーサルな視点を取り入れることが大事です。たとえば外国人にやさしい日本語は、お年寄りや子どもにもわかりやすいものです。柔軟な発想でみんなが助かるようなまちづくりをしましょう。



## ウィズカレッジ・ 矢掛町男女共同参画推進セミナー

2019年1月20日(日)

**演題** 「男女共同参画の視点から地域防災を考える」

**講師** にわ あさこ 丹羽 麻子さん (国立女性教育会館事業課専門職員)

講師は、東日本大震災直後から2年間、「女性のための電話相談ふくしま」を運営してこられた丹羽さん。その経験を元に、豪雨災害を経験した私たちが、今できることをお話しいただきました。

◆ウィズセンターでは、市町村と連携した男女共同参画セミナーを開催しています。

◆今回は、昨年7月の豪雨災害の被災地である矢掛町と共催で実施しました。「防災」をテーマに、避難所運営や防災計画の決定の場に女性が参画する意味や、災害に強い地域づくりなど、経験談をふんだんに交えながらお話しいただきました。

◆参加者は160名。災害を経験した町ならではの熱気に包まれました。講演後のアンケートでも、「災害時は

女性は弱者になりがち。男女関係なく協力しあえるコミュニティが必要」「備品を揃え、避難場所を決めて歩くなど自助の努力をしたい」「いざとなると女性リーダーのなり手はなく、啓発が大切」など多くの感想が寄せられました。





## ウィズカレッジ 企画講座

2018年10月10日(水)

演題 「Life is a Gift, Enjoy It」

講師 かまだ ゆみこ 鎌田 由美子 さん (カルビー株式会社 上級執行役員 ※講演時)

35歳での“エキナカ”の立ち上げを皮切りに、子育て支援や地産品開発など、さまざまな取組を経験された鎌田さん。困難を楽しみに変え、いきいきとチャレンジしてこられた姿に学びます。

●JR東日本に入社したのは平成元年、民営化後初の文系女性社員でした。女性の10時以降の労働は制限され、駅に女性社員用トイレはない時代。当時、駅のトイレはトイレトペーパーもなく、暗い汚い怖い(3K)と言われていた頃です。

そこから13年、駅の中を人々が集い楽しむ空間に、というコンセプトの「エキナカ」プロジェクトを手がけることになりました。35歳の時です。

●当時、駅への出店はイメージが悪く9割断られ、社内でも出来上がりのイメージが共有できませんでした。初めてのことに前例がありません。開業後「こういうことだったのか。早く言ってくれば手伝えた」と言われましたが、「例えば」が言えたらそれは新しいものではないのです。

「エキナカ」という言葉も元々はなく説明が難しかったのですが、私たちは使い続けました。商標権はとらず、日本中の駅に広まって駅が変われば楽しくなると言ったのを覚えています。地方のメーカーも複数エキナカに入ってくれ

ました。

●本社に異動になり、地域再発見プロジェクトを立ち上げました。販路としてのエキナカや商業施設を見ていて、地域と首都圏を物がつなぐことに改めて気づきました。青森ではシードル工房を立ち上げました。素材、技術、人材、すべてが地元がありました。地元では生食用の果物に目がいきがちです。しかし、加工は生食用にはできない美味しさや価値を生みます。シードルを蒸留してできるアップルブランデーは、年を重ねるごとに価値を生みます。そして生食用と異なる販路が拡大されます。加工の面白さに目覚め、人生ずっと地域と関わって行きたいと思えた仕事でした。

●カルビーは日本のスナックメーカーです。転職で驚いたのはダイバーシティでした。トップがコミットし、本気で取り組むからこそ生まれた環境や働き方がありました。女性が働きやすい職場は男性も働きやすい。ダイバーシティはコストではなく投資、成長のエンジンだと感じました。これからの時代、更なる多様性が事業の成長には不可欠です。



## 男女共同参画ゼミナール 公開講座 2018年12月6日(木)

演題 「路上から、しごとをつくる、あしたをつくる」

講師 ながさき ともえ 長崎 友絵 さん (有限会社ビッグイシュー日本 東京事務所長)

ホームレスの社会復帰に貢献するストリート雑誌「ビッグイシュー日本版」の取組みと、ホームレスが生まれる社会背景や、女性の貧困と生きづらさなどについてお話しいただきました。

●路上でビッグイシューを売ること=家がないこと(ホームレス)のカミングアウトです。雑誌を一冊170円で仕入れ、路上で350円で売り、差額180円が収入になる仕組みですが、精神的にもハードルが高く、最初の1冊が売れるとホッとすると言います。

「成功も失敗も、経験として手応えに」の考え方で、販売をサポートしています。「これが自分の仕事なのだ」という感覚を取り戻し、自信を回復できることが大切です。

「自分で稼いだお金で好きなものを買って食べるのがこんなに美味しいとは！」という言葉をよく聞きます。このような気持ちが、路上から再挑戦する小さな一歩となるのです。

●ホームレス状態の人は全国に約5千人(平成30年1月現在)。5年前に比べると1割ほど減っていますが、ネットカフェ難民等はカウントされず、現状の把握は不十分で

す。背後には、労働、家族、住居、金銭等色々な問題があります。きっかけも、家庭の貧困やDV・虐待、病気や障害等を含めさまざま。本人の自信喪失や社会への不信感といった問題もあり、元の生活に戻ることは簡単ではありません。

●女性についてですが、ホームレス総数のうち、女性は4%。ビッグイシューへの相談者でも約5%です。女性にホームレスが少ないのは、体力や安全面で路上生活になるとリスクが高く、「隠れたホームレス」になりがちだからで、安定した住まいを持っていない女性は少なくありません。

2016年の総務省労働力調査によれば、女性の非正規雇用率は55.9%(男性は22.1%)。男女の賃金格差は依然として解消されず、単身の女性は特に「貧困」と「不安定雇用」に陥りやすい状況があります。

女性が安定した生活を営むための、社会の仕組みづくりと、きめ細かい支援が必要です。



結婚・出産・育児・介護などで仕事を離れた女性の、「もう一度働きたいけれどblankが不安」「就活のために資格を身につけたい」「在宅ワークに興味がある」という声。既に働いている女性の「さらにキャリアアップしたい」という声。

ウィズセンターは、さまざまなセミナーを実施し、「働きたい女性」「働く女性」をトータルに支援しています。

## 働きたい・働く女性を応援します！ 働く女性トータルアシスト事業

### 一歩踏み出すために

#### 再就職スタートアップコース

これから再就職を考えようという人、就業のblankに不安がある人などを対象に、ライフデザインや時間管理などのセミナーや、ロールモデルとの交流会を実施しました。

全10講座で約230名の方に参加いただきました。



### 資格取得をめざすために

#### 資格チャレンジコース

再就職を希望しており、求職活動に向けて資格取得を目指す人を対象に、エクセル検定3級合格を目標としたパソコン技能講座を実施しました。

1日5時間×18日間で、エクセルやワードの基礎知識とビジネスマナーを学びました。

全2講座で、14名の方に参加いただきました。



### さまざまな働き方をするために

#### 短期トライアルコース

特定のスキルを身につけ、再就職をめざす人を対象に、パソコン会計ソフト技能講座を実施しました。

また、在宅での就労を希望する方に、画像編集ソフトの使い方や、在宅ワークの探し方、契約の仕方などを学ぶ講座も実施しました。

各1講座で、会計編には9名、画像編には15名の方に参加いただきました。



### 社会で活躍する女性になるために

#### 女性活躍キャリアアップコース

現在、既に就労中で、キャリア形成をめざす人を支援するために、企業への出前講座を実施しました。

メンタルトレーニングやリーダーシップマネジメントなど、企業の女性人材育成研修として、株式会社トスコをはじめ、県南3企業、県北2企業に活用していただきました。



※ いずれも対象は女性のみです。また、31年度において、一部講座の見直しを行う可能性があります。





## 男女共同参画ゼミナール公開講座 2018年9月11日(火)

**演題** 「気づいてますか？  
(デート) DVの背景に潜むジェンダー規範」

**講師** と お や か え こ  
遠矢 家永子さん (NPO法人SEAN(シーン)事務局長) ※講演時 現在は副理事長

いまだ根強いジェンダー規範。子どもの育ちをジェンダー視点で読み解き、デートDVがなぜ起きるのか？どうしたら予防できるのか？についてわかりやすくお話しいただきました。

●「女・男だから〇〇しなさい・してはいけません」。中学生女子の40%、男子の35%がそう言われた経験があると答えています。子ども用品のチラシでも、女の子はかわいく笑顔で、男の子はきりっと剣を持っています。女の子ジェンダーは「行動制限」型の受動的・商品化される性を、男の子ジェンダーは「行動強要」型の攻撃的・主体的な性を、日常の中で学習しているのです。女だから、男だからの押し付けから被害性・加害性は生まれてきます。

●暴力や攻撃を受けた時、「助けて」が言えない男子は、相手を見てやり返すか我慢するかを決めます。強さで相手を支配することを学び、被害者が加害者になっていきます。はじめに受けた悲しい・つらい・嫌だという思いを誰かに聞いてもらい、暴力に頼らない解決策を見つけることが大事です。暴力は、相手が弱いとDVとなりますが、相手が強いと自分へ向かい自殺につながることも。自分の弱さを認めて、困ったら助けてと言えることが本当の強さです。

●恋人の性的欲求にはこたえるべきでしょうか。自分が嫌と思ったら断っていいのです。対等の関係では嫌なら嫌と言えます。主体性はお互い自分にあります。けんかもするし、関係を修復するか別れるかも自分の気持ちに合わせて自分で決めます。

また、水着姿等の仕事が男性よりも女性に多いことについて、嫌だと思う子が減っているそうです。性が商品化されるとデートDVの性暴力に気づけなくなり、同意しないまま性的な画像が出回ってしまうおそれもあります。自分に何が起こっているかを、心と身体で感じ取り、相手にきちんと伝えることが大事です。

●そして、暴力の責任はすべて加害者にあることをしっかり理解しましょう。「あなたにも原因はある」と言われると、DV被害者は孤立してしまいます。

誰もが、かけがえのない命をもっています。自分の気持ちを大事にしましょう。DVは人権侵害です。被害者・加害者を作らないために人権力を高めていきましょう。

## デートDV防止講演会を実施しました！

DVは、人権を侵害する大きな社会問題です。若い世代にもこの問題を知ってもらい、男女間のあらゆる暴力の根絶をめざすため、ウィズセンターでは高校や大学でデートDV防止講演会を実施しています。

平成30年度は、農業大学校や総社高等学校など、13箇所で実施し、参加者は2,937人（うち男性1,514人）でした。

NPO法人さんかくナビ理事長の貝原己代子さんや、岡山理科大学非常勤講師の市場恵子さんを講師に、「デートDVとは（なぜ起きるのか、DVの種類、被害にあったときの対応）」「男女平等、ジェンダーとDV」などのテーマでお話しいただきました。



### 参加者からはこんな感想をいただきました。

- ・「自分で気づかないうちにDVに関わる危険性があることを知ることができた」
- ・「被害にあっている友人が相談できるような信頼関係を築いていきたい」
- ・「加害者でも被害者でも、きちんと話を聞いてあげて受け止めることができる人がそばにいたらいいのと思った」
- ・「こういった話を聞くと、男性でも気軽に相談できるようになれると思えた」
- ・「関係ないと思わず知っていくことが大事」
- ・「何事もなく普通に暮らしているのがすごく幸せなことだと思えた」 など



## パープルリボン運動を知っていますか？

- ◆11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」です。毎年この日までの2週間（11月12日～25日）を、「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間とし、夫やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春・人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等が、女性の人権を侵害する決して許されないものであることを広く呼びかける運動を行っています。
- ◆パープルリボンは、女性に対する暴力根絶のシンボルマークです。「暴力をなくそう」という願いと「ひとりで悩まないで相談を！」のメッセージがこめられています。

県内各地で行われたパープルリボンツリーの設置、パープルライトアップ、マスコットキャラクターパープルリボン着用などの取組の例です。



OHK岡山放送電波塔



旧遷喬尋常小学校(真庭市)



津山城(鶴山公園)



イオン岡山



知事メッセージカード



ももっち・うらっち  
(岡山県)



ももちゃん  
(赤磐市)



ののちゃん(玉野市)



カブニ・カブ海(笠岡市)



やかっぱー(矢掛町)



にいみん(新見市)



平成30年11月10日、イオンモール岡山・おかやま子育てマルシェ内において、「おかやま・子ども元気WAON寄付金贈呈式」と「パープルリボン&オレンジリボン☆ツリー設置式」が行われました。



「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間にあわせ、県立図書館、県立大学附属図書館と連携して、啓発パネル等の展示を行いました。

## ウィズライブラリー ～新着図書より～



### 世界にひかりをともした13人の女の子の物語

チェルシー・クリントン(作)西田佳子(訳)／潮出版(2018年)

迫害、差別を乗り越えて歴史を変えた女性たち。  
”夢をあきらめない心”を学べる偉人伝です。マララ・ユスフザイさんも載っています。



### 樹木希林120の遺言 —死ぬときぐらい好きにさせてよ—

樹木希林／宝島社(2019年)

「楽しむのではなくて、面白がることよ。」2018年9月に他界された樹木さんが生前に遺した120の言葉は、誰もが人生の「壁」に直面したとき、乗り越えるヒントにきっとなるはずです。



### 百まで生きる覚悟 超長寿時代の「身じまい」の作法

春日キスヨ／光文社新書(2018年)

長寿者が元気なうちにどのように「身じまい」の支度をすべきなのか、そうした文化をいかに構築すべきかを、聞き取りの中から明らかにします。

## 映画のつどい

### 4月～6月の上映予定

◆4月18日(木)

#### 「山下清物語 裸の大將放浪記」

～主演：芦屋雁之助～

参加無料



◆5月16日(木)

#### 「石井のお父さん ありがとう」

～岡山孤児院 石井十次の生涯～

◆6月20日(木)

#### 「幸せの太鼓を響かせて」

～ドキュメンタリー～

「映画のつどい」はお申込みなしで参加いただけます。当日の開始時刻(いずれも13時30分から)までにウィズセンター会議室へお越し下さい。ご参加をお待ちしています。

※定員50名

※やむを得ず上映作品が変更になることがありますので、ご了承ください。



ウィズセンターは  
**土・日曜日**も開館しています。  
お気軽に、お越しください。

**開館時間** 火～土曜日／9：30～18：00  
日曜日／9：30～17：00  
**休館日** 月曜日・祝日・年末年始

## ウィズセンターはこんなところ

- 情報提供**
  - 図書・DVD・ビデオ等の貸出
  - 人材情報・各種団体の活動情報の提供
  - 男女共同参画に関する資料の閲覧
- 各種講座**
  - 男女共同参画に関する各種講座の開催
- 相談**
  - 相談員による一般相談  
火～土曜日(祝日を除く)  
9:30～17:00(受付は16:30まで)
  - 特別相談(予約制)
    - 弁護士による法律相談 原則第2・4金曜日
    - 医師によるこころの相談 原則第1・3金曜日
  - 相談専用電話 ☎086-235-3310
  - 男性相談員による男性のための電話相談  
原則第2金曜日 17:00～20:00
  - 男性相談専用電話 ☎086-221-1270
- 就業支援**
  - 就業に役立つ講座の実施
  - 就業に関する情報の提供
- 交流**
  - 各種団体へ活動・交流の場と機会を提供
- 広報**
  - 情報誌の発行(年2回)
  - メールマガジン・フェイスブックの配信(随時)



ウィズセンター



きらめきプラザ



ウィズセンターへお越しの際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

ウィズ 74号  
2019年3月発行

編集・発行

岡山県男女共同参画推進センター  
(ウィズセンター)

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1  
きらめきプラザ(県総合福祉・ボランティア・NPO会館)6階  
TEL 086-235-3307 FAX 086-235-3306  
Eメール danjo@pref.okayama.lg.jp

WEBアクセス ホームページ <http://www.pref.okayama.jp/>

- 岡山県トップページ
- ▷ 組織で探す
- ▷ 県民生活部
- ▷ 男女共同参画推進センター(ウィズセンター)

ウィズセンター 検索



ホームページ



フェイスブック



古紙配合率100%再生紙を使用しています